

科目名	知的財産権法	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）
			法律学科 □必修 ■選択
			観光学科 □必修 ■選択
英文表記	Intellectual Property Right	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年
ふりがな	くまがい しげる	開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中
担当者名	熊谷 繁	修得単位	4単位
授業のテーマ	知的財産権に関する基礎知識を習得する。		
授業概要	知的財産権の各法律について、体系的に説明をする。		
到達目標	知的財産権の種類・概要を説明することができるようにする。		
授業時間外の学習	日常のニュース等に関心を払い、知的財産権に関心を持つ。		
履修条件	特になし		
授業計画			
第1回	知的財産権とは・種類・知的創造物についての権利・営業標識についての権利	第17回	不正競争防止法の目的・種類・商品／営業主体混同行為・著名商品等表示の無断使用行為・商品形態の隷属的模倣行為・営業秘密に関する不正競争行為・技術的制限手段無効化装置提供行為
第2回	著作権の目的・定義・権利主体・権利内容	第18回	不正競争防止法のドメイン名に関する不正競争行為・外国／政府間国際機関の国旗／紋章等の使用制限・外国公務員等に対する不正利益供与等の禁止
第3回	著作権の著作者の権利	第19回	不正競争防止法の適用除外・罰則 産業財産権の法的性質
第4回	著作権の著作隣接権	第20回	産業財産権の発生・主体要件・客体要件・特許権発生に必要な客体要件・実用新案権発生に必要な客体要件
第5回	著作権の保護客体・著作物として保護されるもの・著作物の種類・二次的著作物・編集著作物	第21回	産業財産権の意匠権発生に必要な客体要件・商標権発生に必要な客体要件・効力
第6回	著作権のデータベースの著作物・権利の目的とならない著作物・応用美術・キャラクター・タイプフェイス・肖像権／パブリシティ権	第22回	商標法の沿革・機能と意義・商品と役務
第7回	著作権の著作者・共同著作・法人著作・映画の著作物の著作者／著作権者	第23回	商標法の商標・同一性・類似性・商標法における使用概念
第8回	著作権の著作者人格権・公表権・氏名表示権・同一性保持権・著作者人格権侵害みなし	第24回	商標法の登録要件・商標使用意思・積極的登録要件・消極的登録要件
第9回	著作権の種類・複製権・上演権／演奏権・上映権・公衆送信権等・口述権・展示権・頒布権	第25回	商標法の消極的登録要件（続き）・団体商標制度
第10回	著作権の譲渡権・貸与権・翻訳権／翻案権等・二次的著作物の利用権・著作権侵害みなし行為	第26回	商標法の地域団体商標制度・防護標章制度
第11回	著作権の制限規定・私的使用目的の複製・図書館等における複製・引用・教科用図書等への転載・学校教育番組の放送等・学校その他の教育機関における複製・試験問題としての複製	第27回	商標権の効力・商標権の更新登録制度 特許法の特許制度・発明
第12回	著作権の点字による複製等・聴覚障害者のための自動公衆送信・営利を目的としない上演等・時事問題に関する論説の転載等・政治上の演説等の利用・時事的事件の報道のための利用・裁判手続き	第28回	特許法の特許・特許を受けることができる発明

	等における複製		
第13回	著作権の情報公開法による開示のための利用・出所明示・複製物の目的外使用等・著作者人格権との関係	第29回	特許法の出願から登録まで・外国での特許取得
第14回	著作権の保護期間の原則・無名/変名の著作物の保護期間・団体名義の著作物の保護期間・映画の著作物の保護期間・保護期間の計算方法・著作権の登録制度	第30回	実用新案法の概要・実用新案権・実用新案技術評価書
第15回	著作権の国際条約・ベルヌ条約・万国著作権条約	第31回	意匠法の概要・特徴
第16回	前期定期試験	第32回	後期定期試験
テキスト	なし		
参考文献・資料	知的財産権法文集（一般社団法人発明推進協会編集発行）		
成績評価の方法	前期・後期のテスト結果により評価する。 出席カードの提出で出欠を確認します。		
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降に入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	火曜日・木曜日 15:00~16:00		
学生へのメッセージ	板書きが主となる授業のため、ノート・筆記具を忘れないように。		